

各病院の主な取組

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組や、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

◆急性期・総合医療センター

- 救命救急センターとして救急搬送受入れ（18年度実績3,563件 対前年度76件増）
- SCU、CCUの本格運用に向けた整備・運用（SCU6床新設、CCU2床増設）
- 身体障害者福祉センター附属病院との統合に向けた施設改修等（病棟改修工事等）

◆呼吸器・アレルギー医療センター

- 難治性多剤耐性結核広域拠点病院として多剤耐性結核新入院患者数を受入れ（18年度実績18人）
- たばこ病外来、禁煙外来の開設（肺がん等の呼吸器疾患に対する総合的診断・治療）
- 小児喘息患者の新患者の受入れ（18年度実績462人 対前年度33人増）

◆精神医療センター

- 再編整備について22年度完成を目指しPFI法に基づく手続に着手
- 確定診断待機患者対策として自閉症児に対する外来診療体制の強化（18年度実績278人 対前年度34人増）
- 訪問看護の実施（18年度実績3,500回 対前年度480回増）

◆成人病センター

- 難治性がん患者に対する手術の実施（18年度実績829件 対前年度71件増）
- 外来化学療法の実施（18年度実績44.9人/日 対前年度9.5人/日増）
- 都道府県がん診療連携拠点病院の指定（19年1月）

◆母子保健総合医療センター

- 産婦人科診療相互援助システム基幹病院として母体搬送受入れ（18年度実績124件 対前年度13件増）
- 大阪南医療Cとの連携等による手術体制の拡充（18年度実績3,551件 対前年度185件増）
- ホスピタルプレイスペシャリストによる療養支援の推進